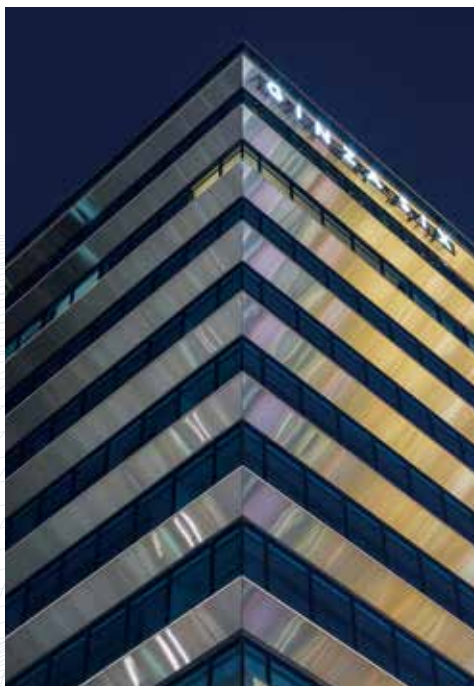




ALPOLIC®

アルポリック®



アルポリック®とは

アルポリック®は表面にアルミニウム、芯材に樹脂を使用した3層構造からなるアルミ樹脂複合板です。

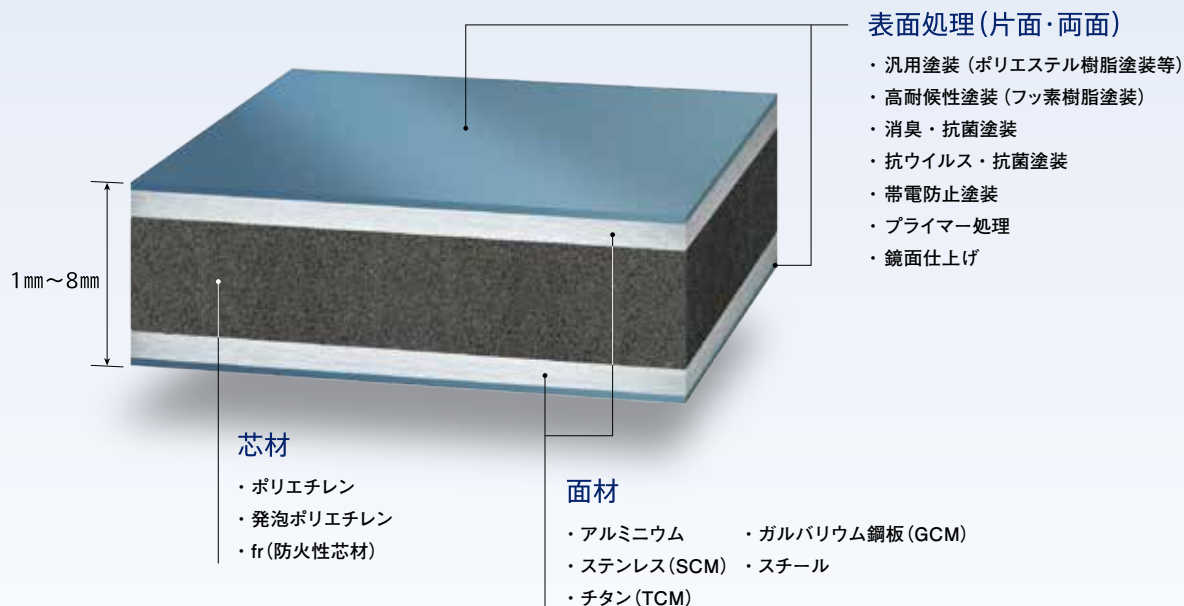
1971年に、看板、住宅資材用途よりスタートし、現在では世界各国で使用される建材となっています。

防火性芯材(fr芯材)を使用して国内外の防火認定グレードを取得したALPOLIC®/frシリーズや、

表面にステンレスを使用したALPOLIC®/fr SCMなど、

構成を変えることでさまざまな意匠・特性を発揮し、幅広い用途で使用できます。

アルポリック®素材構成



アルポリック®の特長

軽量性・高剛性

芯材に比重の軽い材料を使うことによって、同等の剛性や厚みを持つ金属板に比べて軽量化が図れます。

平滑性

金属と樹脂のサンドイッチ構造によって、薄板のアルミ単板や他の金属単板では難しいとされる、高い平滑性を発揮します。

加工性

切断、曲げ、接合等の加工が容易で取付け作業の簡素化も図れます。(加工方法は18ページ参照)

耐衝撃性

ケイカル板、石綿セメント板、石膏ボード、樹脂板等と比べ破壊しにくく耐衝撃性に優れています。

リサイクル性

アルポリック®製品はリサイクル可能な材料です。

耐水性

木材や鉄に比べ腐食に強く、水回りでもお使いいただけます。

防火性

アルポリック/fr®シリーズは国土交通省認定の不燃材料や準不燃材料としての認定を取得しているほか、諸外国の防火基準もクリアしています。

耐食性・耐候性

アルミ表面にコーティングしているため、耐食性・耐候性に優れています。特に、表面にフッ素樹脂塗装を施したアルポリック®は沿岸地域を含めた厳しい環境下でも高い耐候性を発揮します。

断熱性・遮音性・振動減衰性

金属単板と比較し熱伝導率が小さく、また振動減衰性にも優れます。さらに、同一重量で比較した場合、金属単板よりも遮音性に優れます。

保守・経済性

内外装仕上げの建築部材にアルポリック®を使用した場合、製品の高い耐久性とメンテナンス性が、トータルのライフサイクルコストを低減します。

意匠性・塗装品質

特殊塗装コーターの採用により、色ムラの少ない安定した塗装品質を実現します。印刷技術を応用した石目柄、木目柄、抽象柄などの意匠も可能です。

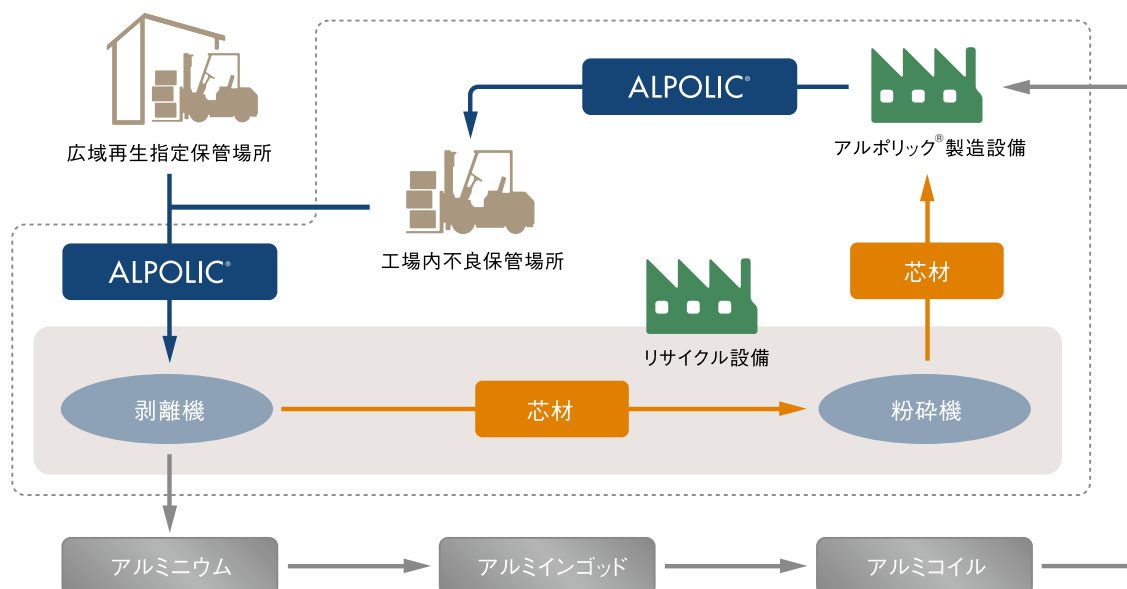


見る角度によって印象が変わるPrismatic カラー

環境への取り組み

アルポリック®はリサイクルが可能なエコ建材です。アルポリック®製造工場では、アルミニウム・芯材とも、独自の技術とシステムで再生利用し、環境に配慮した事業運営を行っています。また、ISO14001を取得、運用すると同時に、行政より広域再生利用指定産業廃棄物処理者の指定を受け、一定の運用基準のもとに、アルポリック®の廃材のリサイクルも行っています。

アルポリック®のリサイクルフロー



更なる可能性へと進化する素材

ステンレス・チタン複合板

アルミニウムは、その軽量性・耐食性・加工性より、建築業界では最も良く知られている金属です。更なる意匠性の要求を満たすべく開発された商品がSCM(ステンレス複合板)、TCM(チタン複合板)です。国内外を問わず、世界中の著名なプロジェクトに採用されています。



China Port Museum
(TCM/Dull Finish) 20,000㎡
中国



Jiangsu Grand Theatre
(TCM/Dull Finish) 55,000㎡
中国



Wuhu Urban Planning Exhibition Centre and Museum
(TCM/Dull Finish) 7,200㎡
中国



GINZA SIX
(SCM/Hairline Finish) 7,000㎡
日本

物 性 Physical properties

標準ラインナップ

	銘柄	仕上げ	呼称	総厚	面材厚	芯材厚	防火認定	カラー(在庫色)
ALPOLIC®	PCシリーズ	両面ポリエステル	315PE	3	0.15	2.7	-	9色
		片面ポリエステル	215PE	2	0.15	1.7	-	1色
	表面未処理品	両面プライマー	202PE	2	0.2	1.6	-	1色
			302PE	3	0.2	2.6		
			402PE	4	0.2	3.6		
			603PE	6	0.3	5.4		
	RF PE	アルマイト	-	2	0.5	1.0	-	1色
ALPOLIC®/fr	4mmシリーズ	両面フッ素	403/fr	4	0.3	3.4	不燃	7色
	ニューブライト®	ポリエステル	303/fr	3	0.3	2.4	不燃	16色
	インナーライト™	片面ポリエステル	-	2	-	-	不燃	8色
	AD	片面フッ素	AP/fr AD	3	0.3	2.4	不燃	1色
	建築用外装パネル	片面フッ素	405/fr	4	0.5	3.0	不燃	4色
	RFシリーズ	アルマイト	-	3	0.5	2.0	不燃	2色
AL-LEADER®	アルリーダー®	両面ポリエステル	312発泡	3	0.12	2.76	-	13色

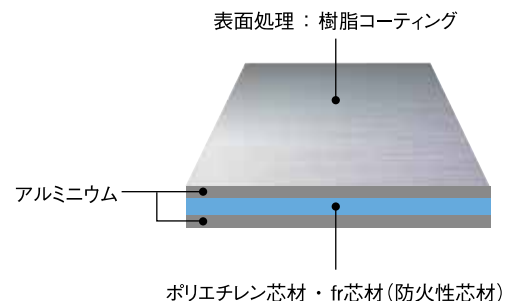
ALPOLIC® : ポリエチレン芯材

ALPOLIC®/fr: fr芯材(防火性芯材)

※特注対応でも生産することができますので最少ロットなどは、弊社までお問い合わせください。

fr芯材とPE芯材の違い

アルポリック®の芯材は用途により選択できます。
 ポリエチレン芯材は、アルミと比べて圧倒的な軽量性を備えています。
 そしてfr芯材は、ポリエチレンに水酸化アルミニウムを配合する事により、
 アルポリック®の意匠性、加工性はそのままに、防火性能を高めた芯材です。



ALPOLIC® 一般的性質

項目	芯材	ポリエチレンソリッド						
	呼称 単位	115PE *	215PE	202PE	315PE	302PE	303PE *	305PE *
板厚	mm	1	2	2	3	3	3	3
比重	-	1.46	1.19	1.28	1.10	1.16	1.28	1.52
重量	kg/m ²	1.5	2.4	2.6	3.3	3.5	3.8	4.6
熱伝導率	W/m・K	0.48	0.40	0.42	0.37	0.39	0.42	0.50

項目	芯材	ポリエチレンソリッド					ポリエチレン発泡
	呼称 単位	402PE	405PE *	603PE	605PE *	アルポリック®RF	312発泡
板厚	mm	4	4	6	6	2	3
比重	-	1.10	1.37	1.10	1.22	1.82	0.76
重量	kg/m ²	4.4	5.5	6.6	7.3	3.6	2.3
熱伝導率	W/m・K	0.37	0.45	0.37	0.40	>0.51	0.23

※受注生産品です

ALPOLIC®/fr 一般的性質

項目	芯材	fr芯材 (防火性芯材)						
	呼称 単位	アルポリック/fr インナーライト™	303/fr	AP/fr AD	403/fr	405/fr	605/fr *	アルポリック/fr® RFシリーズ
板厚	mm	2	3	3	4	4	6	3
比重	-	1.95	1.84	1.84	1.79	1.90	1.81	2.0
重量	kg/m ²	3.9	5.5	5.5	7.2	7.6	10.8	6.0
熱伝導率	W/m・K	0.2	0.80	0.80	0.75	0.85	0.76	>0.95

※受注生産品です

塗膜性能

項目	条件		結果	
	ポリエステル塗装	フッ素塗装	ポリエステル塗装	フッ素塗装
膜厚	膜厚計		14μ以上	25μ以上
硬度	三菱鉛筆「ユニ」		H以上	H
密着性	基盤目セロテープ		100/100	100/100
耐沸騰水性	沸騰水8Hr		フクレ ハガレ なし	フクレ ハガレ なし
耐酸性	5%H ₂ SO ₄ 24Hr		フクレ ハガレ なし	フクレ ハガレ なし
耐アルカリ性	1%NaOH 24Hr		フクレ ハガレ なし	フクレ ハガレ なし
耐塩水噴霧性	5%NaCl 35℃ 240Hr	5%NaCl 35℃ 4000Hr	異常なし	異常なし
促進耐候性	QUV 500Hr	QUV 5000Hr	異常なし	異常なし

●上記の数値は、弊社測定値であり、保証値ではありません

外 装

External Cladding



国内外を問わず、長年にわたって様々な大型プロジェクトで採用され続けているアルポリック®。
 高い剛性によって生み出される平滑性は、大面積のパネルでもたわみの少ないパネルを実現します。
 また、色ムラの少ない美しい塗装面も、パネルの均一性を際立たせ、
 アルポリック®が支持される要因の1つになっています。



1. GINZA SIX	SCM ヘアライン	7,000㎡	6. 日産グローバル本社ビル	特注ホワイト	4,000㎡
2. 人間文化研究機構 総合研究棟	M7770 オフホワイト	700㎡	7. 上本町YUFURA	M9177 シャンペンメタリック	1,600㎡
3. 東急虎ノ門ビル	M9010 ホワイト	1,700㎡	8. NACK5スタジアム大宮	M9170 シルバーメタリック	350㎡
4. YUKIAKARIビル	特注ブラックメタリック	700㎡	9. カーディーラー	M7796 シルバーホワイトメタリック	375㎡
5. エーザイ筑波ナレッジセンター	M9010 ホワイト	1,100㎡	10. 日本水産研究開発センター	M7770 オフホワイト	560㎡

天井・軒天パネル Ceiling panel



アルミ表面の塗装に特殊塗装コーターを採用することにより、色ムラの少ない美しい塗装面を実現しています。
また、マット調から全艶タイプ、ソリッド色からメタリック色まで、様々なデザイン要求に対応できます。



1. JR高知駅	M9010 ホワイト	1,300㎡
2. 三越銀座店	特注シャンペンメタリック	820㎡
3. 横浜入国管理局	M9010 ホワイト	370㎡
4. 京阪中之島線中之島駅	M9170 シルバーメタリック&M9177 シャンペンメタリック	3,800㎡
5. 東京メトロ浦安駅	M9010 ホワイト	3,000㎡

6. 京橋トラストタワー	M9010 ホワイト	1,500㎡
7. 京急羽田国際ターミナル駅	M9170 シルバーメタリック	7,800㎡
8. 阪神なんば線西九条駅	M9170 シルバーメタリック&MB080 ミディアムグレイメタリック	2,650㎡
9. アークヒルズサウスタワー	特注ホワイト	2,100㎡

改 修 Renovation

アルポリック®の軽量・高剛性は改修に伴う、建築構造の負荷を低減します。

また、外装用途として、フッ素樹脂塗装（高温焼付型）を標準採用しており、沿岸地域も含め高い耐候性を発揮します。

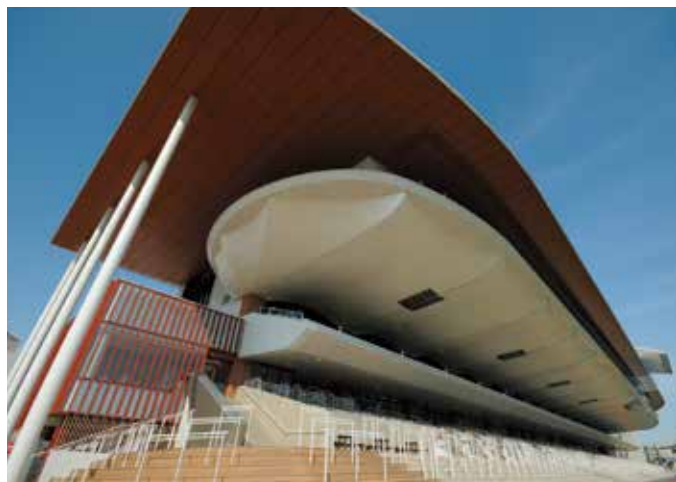
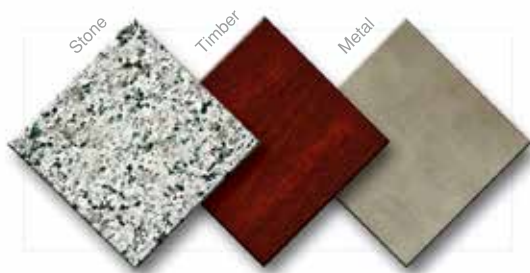


- | | | |
|--------------------------|-------------------------|--------|
| 1. 渋谷地下鉄ビル | ————— M7788 ステンカラーメタリック | 4,000㎡ |
| 2. ライオン本社ビル | ————— 特注ホワイト | 8,000㎡ |
| 3. 学校法人 北海道立正学園 旭川実業高等学校 | — 特注全艶ホワイト | 1,600㎡ |
| 4. 東急池尻大橋ビル | ————— M7788 ステンカラーメタリック | 2,900㎡ |
| 5. コンフビル | ————— 特注メタリックカラー | 5,000㎡ |

転 写 transfer

Stone・Wood・Metal シリーズ

アルポリック®の転写技術は、木目や石目、メタルなど通常の塗装だけでは表現できない柄の意匠までも可能にします。



日本中央競馬会 函館競馬場 ——— ウォールナット 2,300㎡

バックパネル Back panel

昨今、多くの大規模プロジェクトに採用されている「バックパネル」。
透明度の高いガラスカーテンウォールプロジェクトが主流になる中、
アルポリック®の塗装品質（耐候性の高いフッ素樹脂塗装）と平滑性はここでも高い評価を得ています。



- | | | |
|------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 代ゼミ新タワー校舎 | —— 特注グレー | 1,500m ² |
| 2. あべのハルカス | —— 特注色 | 4,500m ² |
| 3. 豊洲フロント(3-1街区) | — MB106 ダークグレーメタリック | 2,200m ² |

内 装 Interior

アルポリック®は、その室内空間をLUXURYに仕上げます。

一般的なアルミパネルはもちろん、他の意匠材にはないアルポリック®独自の塗装仕上がりで平滑性はハイグロスの意匠でも歪みが目立ちません。



GaGa MILANO 表参道店



KIBERA 新宿店



ヨウジヤマモト 松屋銀座店



オーラルデザイナー 新宿デンタルクリニック



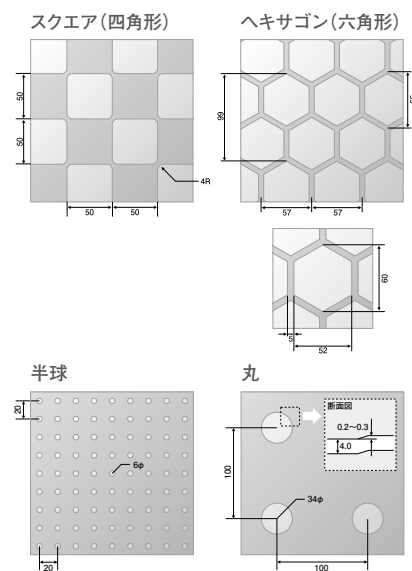
The National Assembly Office Of Vietnam

デザインエンボス加工（オプションによる後加工）

アルポリック®に立体的なエンボス加工を施すことによって、デザインの幅をより一層広げます。



〈エンボスパターン例〉



アルミカール処理（オプションによる後加工）

意匠面のアルミでこぐちの芯材を隠すことによって、透かし目地でも目地が美しく仕上がります。



〈加工方法イメージ〉



※アルミカール処理は屋外や湿気の多い場所でのご使用はお控えください。
 ※銘柄によってアルミ折り曲げ角部のアールが異なる可能性があります。また、外観などを事前にサンプルにてご確認頂くことをお勧めします。

多機能 Other Applications

アルポリック®の用途は建築の分野だけに留まりません。アルポリック®シリーズの高い意匠性、加工性、軽量性、剛性は、それらの性能を求められる全ての分野で能力を発揮します。



搬送用カート側板



シェルター屋根



トラック外装



トラック内装



スロープ

目隠し Fence

公共住宅からマンションの目隠し、他には学校や駅舎のフェンスまで、様々な目隠し用途としてご採用いただいております。また、パンチング加工を施すこともできます。



サイン Signage

高い平滑性が評価され、コーポレートサイン等にもご採用いただいております。

〈 アルポリック/fr®AD 〉

特定フィルムとの組み合わせで不燃認定を取得した、フィルム仕上げ用の下地材を開発しました。

セットで
不燃認定を
取得

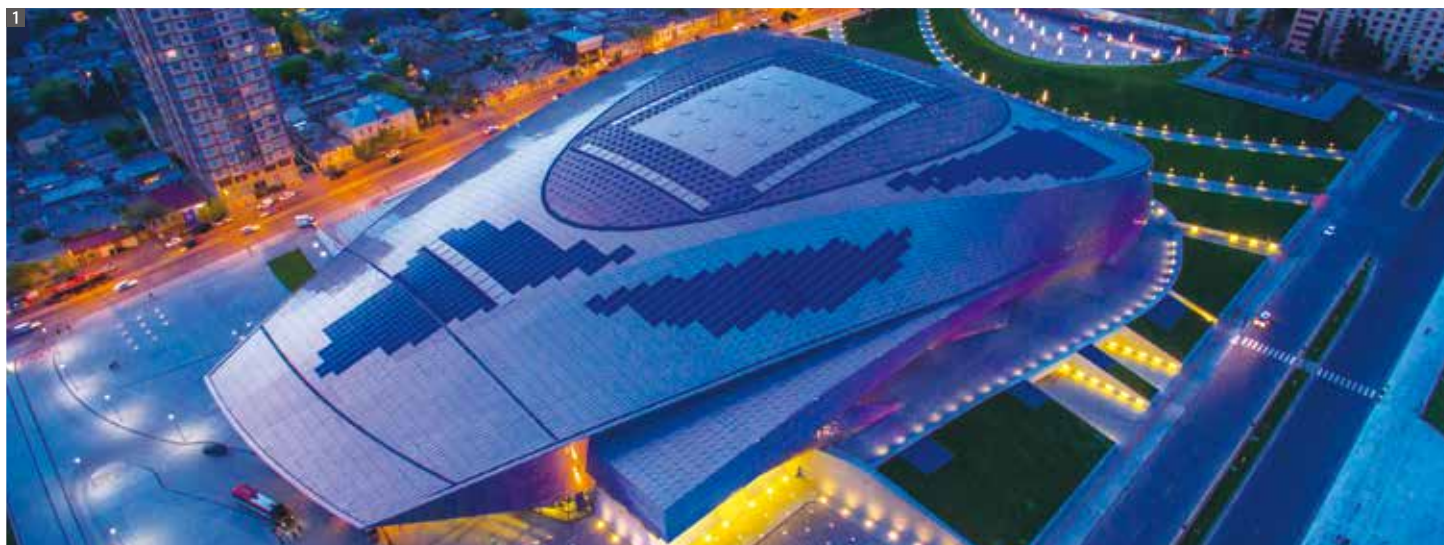
対応フィルム

ALPOLIC®/frAD



海外 Overseas

ALPOLIC®/frシリーズは諸外国の防火基準をクリアしており、その活躍の場は国内だけでは留まりません。
アルミ樹脂積層複合板のグローバルスタンダードとして130カ国以上で使用されています。

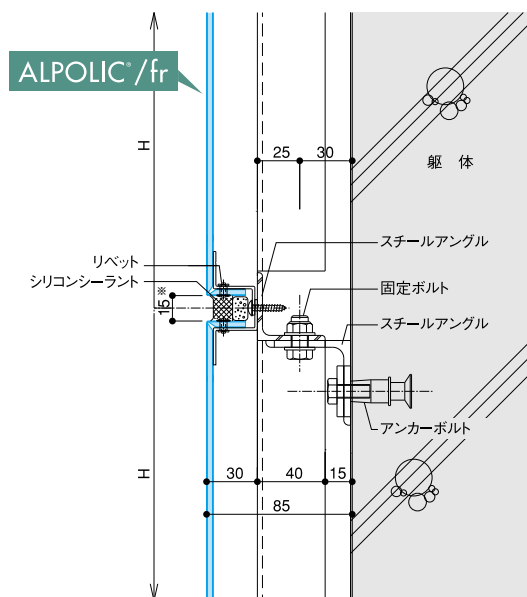
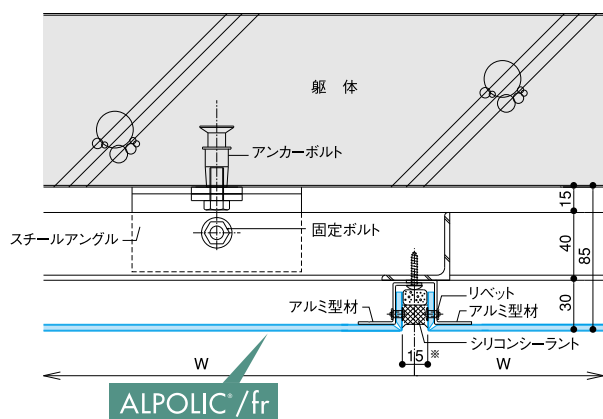


1. Baku Convention Center	Baku, Azerbaijan	49,200m ²
2. NASA Kennedy Space Centre Project	Cape Canaveral, FL, USA	80,000m ²
3. Theatre de Stoep	Spijkensisse, The Netherlands	6,700m ²
4. Marina Bay Sands	Marina Bay, Singapore	5,500m ²
5. Awaza Congress Center	Turkmenbashi, Turkmenistan	26,000m ²
6. The National Assembly Office Of Vietnam	Hanoi, Vietnam	9,220m ²

参考ディテール Reference Drawing

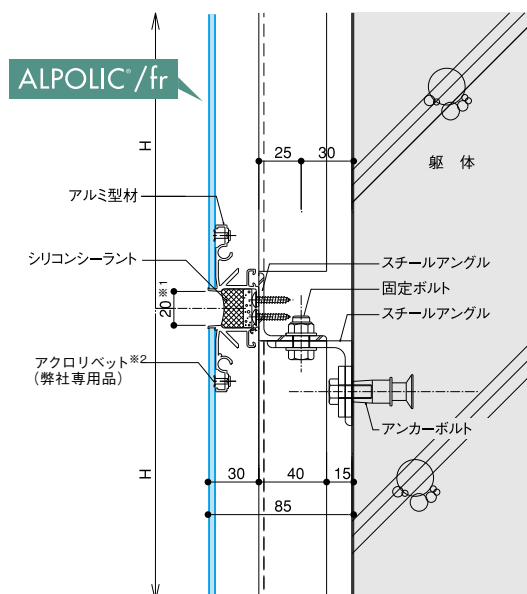
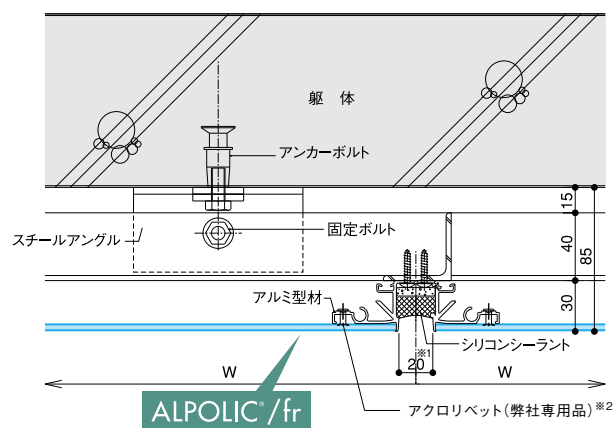
これらのディテール(アルミ型材・下地・副資材等)については一例です

1 Btype (箱曲げパネル)



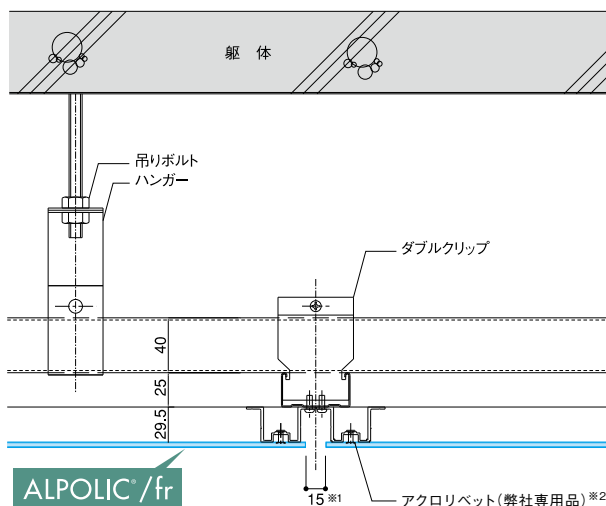
※目地幅は、パネル寸法や使用環境に応じて、適宜設定願います。

2 Edge Frame



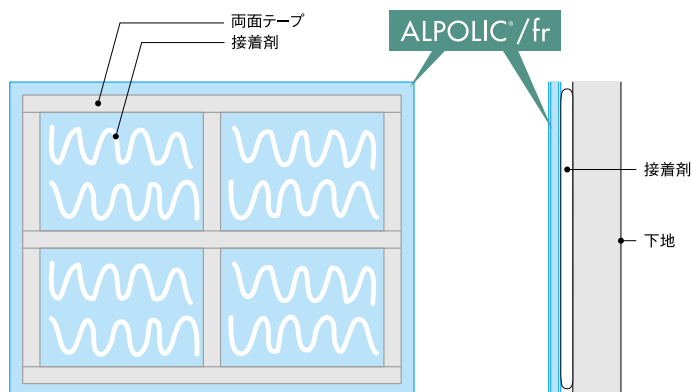
※1 目地幅は、パネル寸法や使用環境に応じて、適宜設定願います。
 ※2 アクロリベットによる締結は、405/frまたは605/frが対象となります。
 また、外観などを事前にサンプルにてご確認ください。

3 天井パネル



- ※1 目地幅は、パネル寸法や使用環境に応じて、適宜設定願います。
 ※2 アクリリベツトによる締結は、405/frまたは605/frが対象となります。
 また、外観などを事前にサンプルにてご確認ください。

4 圧着貼り(内装)



■直貼り下地の例

好ましい下地 ※1	好ましくない下地
○プラスターボード	×ALC、RC面
○ケイカル板・フレキ板 ※2	×クロス面、化粧紙面
○軽量鉄骨材 (コンロ廻り以外)	×凹凸のある下地

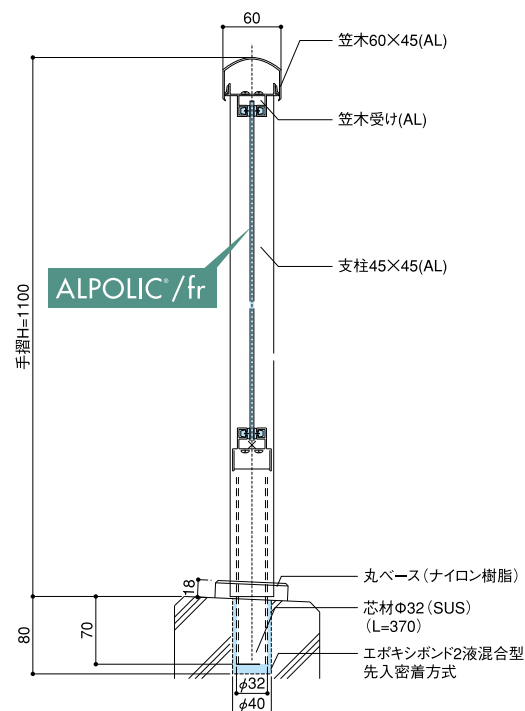
- ※1 下地材の選定や構造の作成は、建築基準法等の法令・法規に適合したものをとお選びください。
 ※2 ケイカル板・フレキ板の場合は、市販のシーラーなどによる下地処理が必要になります。

■使用部材の例

使用テープ	使用接着剤	使用シーリング剤	
TMテープ	MPX-1	ボンド変成シリコンコーク	コニシ社
ボードテープ310	PM165	POSシール	セメダイン社
ZK-31, ZK-32	エコボンドSE-1	—	アイカ工業社

- ※圧着貼りをするときは基本的に厚さ4mm以下のアルポリック®を使用し、接着剤と両面テープを併用して貼り付け圧着してください。
 4mmより厚いアルポリック®を圧着貼る際は弊社までお問い合わせください。
 両面テープは仮留めとしてお使いいただき、接着剤は弾性の接着剤をお使いください。
 なお、ご紹介した施工方法は一例であり、工法自体を保証、限定するものではありません。
 この他にも各接着剤メーカー様の出されている工法もございます。
 ※本工法による仕上げ面は、上表の副資材を使用した場合においても、多少のゆがみが認識される可能性があります。
 ※シーリング材は目地のシール処理等を目的としたもので、接着用途での使用は想定していません。

5 手摺り



アルポリック® パンチングパネル Processing

高い剛性と美しい塗装面をもつアルポリック®のパンチング加工パネルは、専用のプレス機械で均一なピッチの穿孔加工を施したもので、バルコニー、階段目隠板、間仕切り、天井板等での用途に最適です。

1 規格

銘 柄	アルポリック®各種に対応しています。但し製品銘柄によっては、パンチング開孔パターンが限定されるものもあります。
サイズ	アルポリック®の定尺寸法から自由に切断できます。
納期(受注後)	サイズ・パターン・製品の在庫状況により異なりますので、事前にお問合せください。
パンチング開孔パターン	下記以外の開孔パターンもあります。また、金型を製作して特注のパンチングパターンを製作することもできます。(但し、金型製作代はお客様のご負担となります。)

注) パンチング加工をした場合、防火認定は適用外となります

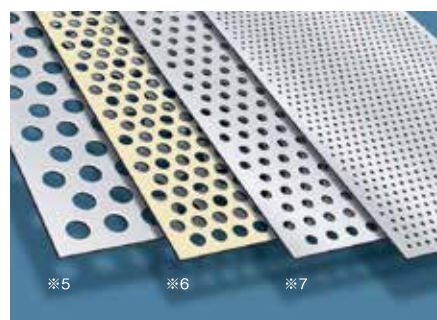
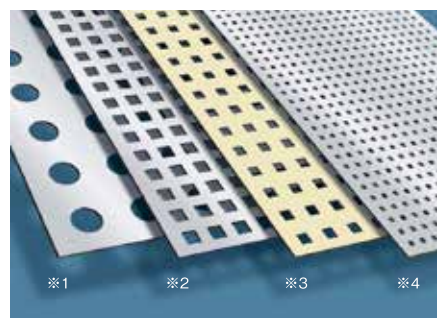
2 パンチング開孔パターン例(注文加工品)

並 列 抜 き

丸 穴	角 穴
● 8φ-14P 並列抜き 開孔率 25.6%	● 4□-10P 並列抜き 開孔率 16.0%※4
● 20φ-25P 〃 〃 50.2%	● 8□-16P 〃 〃 25.0%
● 20φ-40P 〃 〃 19.6%※1	● 8□-20P 〃 〃 16.0%※3
	● 10□-18P 〃 〃 30.9%※2

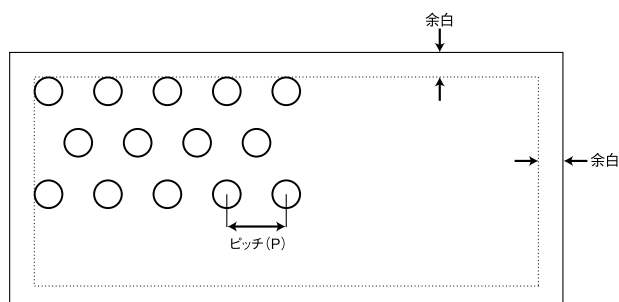
千 鳥 抜 き

千 鳥 抜 き
● 5φ-10P 60° 千鳥抜き 開孔率 22.6%
● 6φ-10P 60° 〃 〃 32.6%
● 7φ-12P 60° 〃 〃 30.8%
● 8φ-12P 60° 〃 〃 40.2%
● 8φ-14P 60° 〃 〃 29.6%
● 8φ-16P 60° 〃 〃 22.6%※7
● 10φ-15P 60° 〃 〃 40.2%※6
● 15φ-25P 60° 〃 〃 32.6%※5

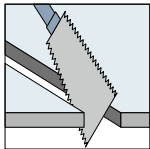
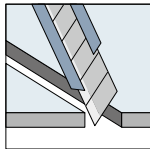
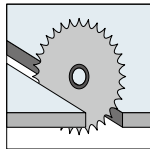
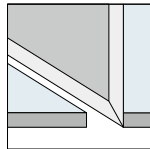
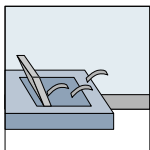
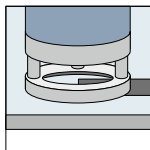
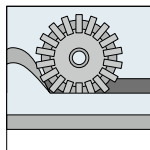
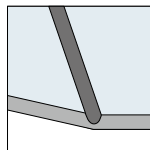
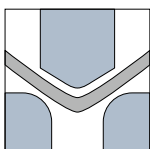
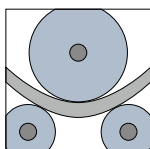
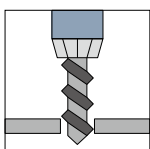
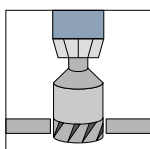
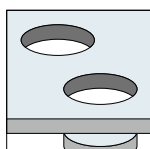
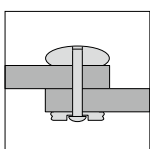
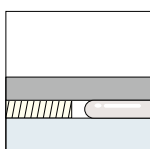
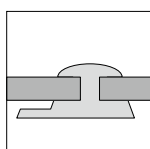


3 ご注文要領

1. アルポリック®銘柄、色名
2. サイズ(製品寸法)
3. 開孔パターン、余白寸法(パンチングしない部分の寸法)
4. 加工数量
5. 納入先
6. 希望納期



加工方法 Processing

加工	使用機械・治具等	備考
切断	 ●鋸(金物用、木工用、プラスチック用)  ●カッター  ●丸鋸 ●ランニングソー ●ジグソー  ●スクエアシャー	シャーのクリアランスは、板厚×2%程度が適当です。クリアランスが大きいとダレ、バリ等が発生する恐れがあります。板押えの圧力が大きいと、面材を凹ませる場合がありますので、圧力を弱めるか、スパーサー板を挿入して下さい。
切削	 ●かんな  ●ハンドトリマー ●CNCルーター ●プレイナー  ●フライス盤 	切削により溝をほった場合は、工具なしで曲げることも可能です。 切削をして直角に曲げる場合、角部が3～3.5Rになるように溝をほってください。
曲げ	 ●プレスブレーキ  ●ロールベンダー(3本ロール) ●ロールフォーミング	傷防止のため、プレスブレーキのダイはウレタン製パッドが適しています。プレスブレーキによる最小曲げ半径は銘柄、表面処理、面材アルミニウムの圧延方向により異なりますので事前に曲げテストをされるか又は弊社にご相談ください。
穴あけ	 ●ハンドドリル  ●ボール盤 ●ホールソー  ●プレス(打抜き)	プレス打抜きの場合ポンチとダイスのクリアランスは出来るだけ小さくすると綺麗に仕上がります。(板厚×2%程度が適当です。)
接合	 ●リベット ●ボルト ●ビス  ●接着剤 ●両面テープ  ●ジョイナー	リベット等で接合を行う場合は、電食等を考慮し材質の選定を行ってください。接着剤を使用する場合は、弾性の接着剤を用い、アルミニウムに有害なものの使用は避けてください。なお、一部銘柄を除き、溶接には適しません。詳細についてはお問い合わせください。

※加工方法の詳細や銘柄の違いによる加工の可否は、弊社までお問い合わせください。

設計・施工の前に必ずお読みください

▲ アルポリック®の切断面は大変危険ですので、手を切る恐れがあります。保護手袋を使うなど取扱いはできるだけ慎重に行ってください。
切断方法によってはアルポリック®の小口にバリが発生します。ご使用状況に応じて、小口のバリ取り等の安全対策の実施をお願い致します。

- シルバー系、ヘアライン、メタリック、木目調、石目調は、柄目・色目がありますので、縦横を統一してご使用ください。
- シルバー系を大量になる場合は、ロット間で色調差が発生する恐れがありますので、ご発注の際は弊社にご相談ください。
- アルポリック®の線膨張係数はアルミ単板とほぼ同等です。著しく温度変化が大きい環境下では、熱伸縮を考慮して適切に目地を取ってください。
- アルポリック®の熱変形温度はポリエチレン単体と比較して高く、約110℃前後です。そのため大きな力がかからず短時間で100℃程度の高温にも耐えられます。ただし、実用上、高温雰囲気中で長時間使用する場合は70℃以下でご使用ください。
- RFのような鏡面の製品は大幅での映り具合(ゆがみ・明度)の確認をお勧めします。
- アルポリック®の面材はアルミのため、腐食のメカニズムはアルミ単板と同様になります。酸性やアルカリ性の物質(土やモルタル等)とは直接の接触を避けてご使用ください。
- アルポリック®の端部(こぐち)が、アルミニウムを侵す環境(特に海岸部等)では、注意してご使用ください。
- アルポリック®の面材は、アルミニウムであり、湿潤状態で異種金属と接触しますと電位差によって、電食が発生します。接合に使用するリベット・ボルト類は、電食等を考慮し、材質の選定を行ってください。
- 表面の保護フィルムは直射日光・湿気により劣化し、糊残り等の問題をおこす恐れがありますので、乾燥した室内に保管するようにしてください。また施工完了後は速やかに剥がしてください。
- 保護フィルムの上から接着テープやマジックを使用すると、アルポリック®の表面にその跡がうつることがありますのでご注意ください。
- アルミニウム・プラスチック複合材ですので、割れにくい素材ですが、衝撃又は異物の挟み込みにより、打こん・へこみ・エッジの変形が発生する恐れがあります。運搬・保管・加工、および施工時には十分注意してください。
- アルポリック®塗装板は、その表面に付着したごみやほこりを適宜清掃し、除去することによりいつまでも美しい外観を保つ事が出来ます。クリーニングは、柔らかい布で、中性洗剤にて汚れを除去し水洗後乾拭きしてください。研磨剤クリーナーやスチールワールは使用しないでください。酸性やアルカリ洗剤および有機溶剤は使用しないでください。アルミの腐食、塗膜のハガレ、剥落の原因となります。
- アルポリック®に塗装する場合、アルポリック®は芯材にポリエチレンを使用しておりますので低温焼付硬化型あるいは常温硬化型の塗料を使用し、焼付乾燥炉内の温度も均一になる様に注意して、板表面温度90℃以下の温度で焼付乾燥してください。
- RFシリーズは、屋外や屋内でも水分雰囲気のあるところでの使用は避けてください。
- アルポリック®に設備機器などによる荷重を負担させることは避けてください。



三菱ケミカルインフラテック株式会社

本 社	100-8251	東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル	☎03(6748)7349(直通)
関 西	541-0044	大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル	☎06(6204)8470(直通)
中 部	450-6419	名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビルヂング	☎052(565)3584(直通)
九 州	812-0026	福岡市博多区上川端町12-20 ふくぎん博多ビル	☎092(262)9405(直通)
北 海 道	060-0807	札幌市北区北七条西4-3-1 新北海道ビル	☎011(746)6241(直通)

www.alpolic.jp

- 本カタログ記載の内容については、予告なく変更する場合があります。
- 色調については、印刷の特性上、現物と異なる場合があります。
- 本カタログからの無断転載を禁じます。
- 本カタログは、環境にやさしいFSC認証紙を使用しています。



文書NO.L01391P11405
2022年12月1日改訂(YM)